

村田裕之「シニアシフトの衝撃」より

ウィローバレーとは、ペンシルベニア州の田舎の人口6万人の小さな町にある2000戸の住居が立ち並ぶ大規模リタイアメント・コミュニティだ。通常、こうした施設はフロリダやアリゾナなどの温暖で利便性のよい場所につくる。ところが、ウィローバレーは、冬寒く、市外地から遠く離れた場所に立地している。にもかかわらず、施設の入居率は健全型も介護型もほぼ満室状態である。なぜ、こんなことが可能なのか....」

◆◇ウィローバレーはアメリカのトップ CCRC の一つです。居住者の出身州は37州。温暖なフロリダやカリフォルニア出身の方もいるということです。ランカスターに位置し、ニューヨーク、ワシントン DC も比較的近くて便利な場所にあります。◆◇

---

## Willow Valley Community

450 Willow Valley Lakes Drive

Willow Street, PA 17584



ペンシルベニア州



ランカスターカウンティ

北緯 39.43 – 北緯 42 度 (秋田県～青森県)

### 年間平均気温

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	3	5	10	17	22	27	30	29	25	19	12	6
平均最低気温 (°C)	-4	-3	0	6	11	16	20	18	15	8	3	-1

(以下ウィローバレー ホームページより抜粋)

30年以上にわたり、ウィローバレーはシニアの方々が生活するもっとも先進的なコミュニティとして認められてきました。80,000 平方フィート (2,200 坪) のカルチャーセンターにはフィットネスセンター、スパ、プール、アートギャラリー、それに500席の劇場があります。30,000 平方フィート (約830坪) の倶楽部ハウスには6レーンのボーリング場、ゴルフ練習場、懐かしいレトロ通り、アウトドアプール、スパ、テンスコートがあり、美しいインテリアは賞を獲得したこともあります。私たちは環境を整備、発展させ、シニアの皆様の生活を変えていきます。

私たちの考える使命、ビジョンそして情熱はシンプルなものです。住民の皆さま、それぞれが生き生きと建設的、前向きに暮らしていかれるようお手伝いするということにつきます。それを実現するために革新的プログラムづくりを目指すと共にコミュニティのすべての面において卓越性を追求するものです。

#### ○ Life Care Promise ライフケアの約束

ライフケアの契約は、入居後、追加料金の心配なく元気いっぱいの生活をしていただくことを保証するものです。どんなレベルの介護が必要となっても、月々の料金はそのままあなたのニーズに合わせた支援を提供いたします。皆さまはここでそうしたケアを受ける権利をお持ちです。皆さまの生活をサポートし、心を込めてお世話をさせていただきます。その中には身体の介護、認知症の症状をお持ちの方への適切な対応も含まれています。入居時の入会金と月々の料金は生涯をとおして安心と質の高い生活をお約束いたします。

入居時一回のみの入会金：\$71,000 - \$416,000

管理費生活費 (月額)： \$1,137 ～

○世界に通用するシェフから、看護師、庭師などの経験豊富なスタッフまですべてのチームのメンバーが、ここに住む皆さまの生活を豊かにするために、それぞれの経験を生かして一生懸命仕事をしています。また、ここでは住民の方が望まれることの殆どを手に入れることができます。

ここには100以上のクラブ、グループ、講座等があり、自分にあったものを見つけてご参加いただけます。

例えば、水彩画、クリエイティブライティング、写真、ハイキング、サイクリング、ボーリング、バスケットボール、ゴルフ、屋内プール、屋外プール、木工、キルティングなどの手芸、バスケット編み、ビリヤード、ブリッジ、麻雀、ビンゴゲーム、歌、ダンス、コーラス、ハンドベル、タップダンス、あるいはオープンなセミナーでの討論、コンピューター倶楽部、近くにある景勝地、歴史的場所、フィラデルフィア、ワシントンDC、ニューヨークなどへの旅、遠足。

#### ○居住者のコメント

教育者、退役軍人、芸術家、エンジニア、ドクター、コミュニティリーダー、その他多くの人々が全米からこの地へこられました。皆さんは親しみやすさと共に、長年培われた経験を持って来られます。何人かの方の声をお届けします。

#### パット・ディロン

私たちが新しい家を探しているとき、私たちにとって大切なこと、必要なことなどを明らかにして問合せたところ、ウィローバレーだけがその要求に合うものでした。夫は今後長期にわたり介護が必要です。大きな出費が予想されるわけですが、ここに引っ越すことにより不安は解消されました。それは子供たちをも大いに安心させるものでした。

#### ニック・ケブニック

テネシーに90坪の家を完成させました。私の終の住み家となるはずの家でした。しかし物理的な場所やものではなくて、もっと精神的に満たされるリタイアメント生活があるはずだと気づいたのです。数えきれないほどのイベントや、いろいろなことにチャレンジするチャンスの多さが私をここに導きました。現在カメラクラブのメンバーとして楽しんでいます。週ごとの劇場での催し、音楽、アートショーなども楽しいです。私たちの生活は豊かで満ち足りたものになり満足しています。ランカスターは大好きです。

#### フジエ・トウィリング

私はこの施設の立地が気に入っています。ランカスターの田園地帯にありますが、ときどき気分転換に町に行くのです。ニューヨークや、ワシントンDCが近いので町へ行きたくなったら簡単に行けるというのがいいです。私たちにとってベストな場所というわけです。そしてみんながとてもフレンドリーで親切、お互いに思いやって暮らしているので嬉しいです。こんなコミュニティは今まで見たことがありませんでした。家族みたいなものですね。また今までずっとやりたくてやれなかった水彩画を習っていますが、それも楽しみの一つです。

# キャンパスマップ



「ここでは入居者参加型の独特の営業活動をしている。フロリダからの見学者にはフロリダから移住した入居者が案内し、カリフォルニア州から来た見学者にはカリフォルニアから移住した人が案内する。すると、『こんな寒い田舎では住むのが大変だろう』と当初半信半疑で見学していた見学者も、自分たちの住んでいるところから移住した人の実体験を聞いて安心感が増す。こうした営業活動を効果的にするために、コミュニティの魅力を上手に説明するための研修を行う。このように悪条件に立地することで、逆に経営者や従業員が頭を使って工夫をするようになる  
ーシニアシフトの衝撃より」

## ランカスターカウンティの風景

